**提出物一覧（教育職員検定による申請の場合）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 申請区分・対象免許状 | 根拠規定 | 教育職員検定願（様式第２号の２） | 実務成績証明書（様式第２号） | 人物に関する証明書（様式第３号） | 身体に関する証明書（様式第４号） | 卒業証明書（原本）又は卒業証書の写し（原本証明付き） | 学力に関する証明書（原本） | 教員免許状原本（新免許状の場合は両面の写しに原本証明を付したものでもよい） | 保健師・看護師・栄養士・管理栄養士・保育士の免許証の写し（原本証明付き） | 戸籍抄本等（申請書類にて一つでも姓名や本籍地が異なる書類がある場合） | 職務経歴書 | 在籍証明書 | 返信用封筒 | 手数料（宮崎県収入証紙若しくは郵便為替による。郵便為替の場合、未記入で糊付けせずに提出すること。） | 備　　　考▲は必要に応じて提出する書類です。※①　宮崎県内の公立学校の現職教員の場合、現任校を除き、過去に勤務していた宮崎県内の公立学校の「実務成績証明書」に代えて、人事記録カード（原本証明付き）の提出も認める。宮崎県内の公立学校の現職の講師等の場合、現任校を除き、過去に勤務していた宮崎県内の公立学校の辞令の写し（原本証明付き）の提出も認める。　現任校の在職期間を含んだ勤務経験により申請する場合は、現任校の分は実務成績証明書を提出すること。　県外や公立以外の学校の証明については、上記の代用は認めない。※②　「身体に関する証明書」に代えて、身体に関する証明書の検査事項が網羅された定期健康診断書の写し（概ね１年以内に受診したものに限る。原本証明を付すこと。）の提出も認める。※③　「卒業証明書又は卒業証書の写し（原本証明付き）」は教員免許状の写し（原本証明付き）で卒業年月日が確認できる場合は不要。※④　申請書類にて一つでも姓名や本籍地が異なる書類がある場合に提出すること。※⑤　失効した免許状が、免許更新制の導入前（平成21年３月31日以前）に授与された免許状（旧免許状）である場合に提出すること。 |
| 上級免許状：幼・小・中・高 | 免許法別表第３ | **○** | **○****※①** | **○** | **○****※②** | **▲****※③** | **○** | **○** |  | ▲※④ | ▲※⑤任意様式 | ▲※⑤ | 角型２号の封筒（Ａ４の紙がそのまま入るサイズ）に宛て先、氏名（様まで記載）を明記し、切手（特定記録の場合３９０円分、簡易書留を希望する場合５３０円分）を貼付。 | 5,000円 |
| 同校種他教科 | 免許法別表第４ | **○** |  | **○** | **○****※②** | **▲****※③** | **○** | **○** |  |
| 上級免許状：実習免許 | 免許法別表第５ | **○** | **○****※①** | **○** | **○****※②** | **▲****※③** | **○** | **○** |  |
| 上級免許状：養護教諭 | 免許法別表第６ | **○** | **○****※①** | **○** | **○****※②** | **▲****※③** | **○** | **○** |  |
| 上級免許状：栄養教諭 | 免許法別表第６の２ | **○** | **○****※①** | **○** | **○****※②** | **▲****※③** | **○** | **○** |  |
| 特別支援 | 免許法別表第７ | **○** | **○****※①** | **○** | **○****※②** | **▲****※③** | **○** | **○** |  |
| 隣接校種 | 免許法別表第８ | **○** | **○****※①** | **○** | **○****※②** | **▲****※③** | **○** | **○** |  |
| 実習免許状 | 免許法附則第９項 | **○** | **○****※①** | **○** | **○****※②** | **○** | **○** | **○** |  |
| 栄養教諭免許状 | 免許法附則第１７項 | **○** | **○****※①** | **○** | **○****※②** | **○** | **○** | **○** | **○** |
| 原本証明とは、原本そのものを提出することができない場合に、原本をコピーし、その余白に原本と相違ない旨を証明することをいいます。申請時に学校等で勤務していない場合は、原本を送付してください。【記載例】　　この写しは原本と相違ないことを証明します。○○年○月○日 △△△小学校 校長 宮崎 太郎　公印 |

様式第２号の２（第30条、第33条関係）

|  |
| --- |
| 教育職員検定願 |
| 申請免許状 | 　　　教諭（専修・１種・２種・臨時・特別）免許状 | 教科・領域 |  |
| ふりがな |  | 電話番号 | 本人・日中連絡先 |  |
| 氏名 |  |
| 所属（　　　　　） |  |
| 現住所 | 　　　　　　　　　　　　 |
| 生年月日 | （和暦）　　　　年　　　　月　　　　日 | 本籍地 | 　　　　　　　　（都道府県） |
| 私は、関係書類を添付のうえ、上記免許状の教育職員検定による授与を申請します。なお、教育職員免許法第５条第１項第３号から第６号までの規定に該当しないこと及びこの出願について虚偽のないことを誓います。（教育職員免許法第５条第１項第３号から第６号までの規定）３号　禁錮以上の刑に処せられた者４号　第10条第１項第２号又は第３号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該失効の日から３年を経過しない者５号　第11条第１項から第３項までの規定により免許状取上げの処分を受け、当該処分の日から３年を経過しない者６号　日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者　　　　　　　　　年　　　　　月　　　　　日　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　　　（自署）宮崎県教育委員会　殿　　　　　　　　　　 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 県収入証紙貼付欄 |  | 受付日付 |
| （普通免許状又は特別免許状の場合5,000円）（臨時免許状の場合3,400円） |  |  |

※以下、宮崎県教育委員会記入欄

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 根拠規定 | 免許法第（　　　）条第（　　　）項別表第（　　　　） | 審査 |  |
| 普通免許 | 添付書類 | 学力に関する証明書 |  | 戸籍抄本 |  |
| 実務成績証明書 |  | 基礎資格 |  |
| 人物に関する証明書 |  | 修得単位 | 教科・養護・栄養及び教職 |  |
| 身体に関する証明書 |  | 特支 |  |
| 教員免許状の写し |  | 所要資格取得年度 | 年度 |
| 臨時免許 | 添付書類 | 臨時免許状授与内申書 |  | 講師 | 卒業、修了又は資格に関する証明書 |  |
| 人物に関する証明書 |  | 成績証明書 |  |
| 身体に関する証明書 |  | 更新する臨免原本 |  |
| 教員免許状の写し |  | 戸籍抄本 |  |
| 教諭 | 教科教育成績証明書 |  |  |
| 特別免許 | 添付書類 | 人物に関する証明書 |  | 推薦書 |  |
| 身体に関する証明書 |  | 卒業、修了又は資格に関する証明書 |  |
| 実地に関する経験又は技術の証明書 |  | 戸籍抄本 |  |

様式第２号（第29条、第31条－第33条、第34条関係）

|  |
| --- |
| 実務成績証明書 |
| 勤務校 |  | 氏名 |  | 生年月日 | 年　　月　　日 |
| 勤務成績 | 優良　・　不可　　※どちらかに○をつけ、評価の基礎となる具体的内容を記入すること |
| ①教員としての在職期間 | 学校種 | 職名 | 担当教科 | 期間 | 合計 |
| 幼・小・中・高・特支（幼・小・中・高） |  |  | 年　　月　　日から年　　月　　日まで | 年　　月　　日 |
| 幼・小・中・高・特支（幼・小・中・高） |  |  | 年　　月　　日から年　　月　　日まで | 年　　月　　日 |
| 幼・小・中・高・特支（幼・小・中・高） |  |  | 年　　月　　日から年　　年　　月まで | 年　　月　　日 |
| 幼・小・中・高・特支（幼・小・中・高） |  |  | 年　　月　　日から年　　月　　日まで | 年　　月　　日 |
| ②実際に勤務しなかった期間及び事由（休職・産休・育休等） | 事由 | 期間 | 合計 |
|  | 年　　月　　日から年　　月　　日まで | 年　　月　　日 |
|  | 年　　月　　日から年　　月　　日まで | 年　　月　　日 |
|  | 年　　月　　日から年　　月　　日まで | 年　　月　　日 |
|  | 年　　月　　日から年　　月　　日まで | 年　　月　　日 |
| （①の期間）―（②の期間） | 年　　月　　日 |
| 上記のとおり副申する。　　　　　　　　　年　　月　　日　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　所属長職氏名　　　　　　　　　　　　　　　印　 |
| 上記のとおり証明する。　　　　　　　　　年　　月　　日　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　実務証明責任者　　　　　　　　　　　　　　印　 |

（備考）１　勤務成績の欄には、勤務の状況、教育力、社会性その他について記入すること。

２　学校種の欄では、該当する学校種に○をつけること。なお、特別支援学校勤務の場合には、在籍し

た部も選ぶこと。

３　職名については、教諭、助教諭、講師、養護教諭、養護助教諭、実習助手の別に記入する。講師の

場合、常勤、非常勤の区別をして記入すること。

４　現任校で証明する場合、「期間」の終期は証明日と同日とすること。

５　複数の勤務校における在職期間を証明する場合は、それぞれの勤務校ごとに作成すること。

６　実務証明責任者とは、国立学校又は公立学校の教員については所轄庁、私立学校の教員については

当該学校を設置する学校法人等の理事長をいう。

様式第３号（第30条、第33条関係）

|  |
| --- |
| 人物に関する証明書 |
| 氏名 |  | 職名 |  | 生年月日 | 　　　　年　　月　　日 |
| 観察事項（以下の該当欄に○印を付すこと。） |
| １ | 責任感 | ややもすれば責任を回避しがちである |  | 責任は果たすが不十分である |  | 責任を果たす |  | 責任を十分に果たす |  | 責任を積極的にしかも完全に果たす |  |
| ２ | 協調性 | 協力して仕事をすることが少ない |  | 協力して仕事をするが範囲が狭い |  | 協力して仕事をする |  | 多くの人と協力して仕事をする |  | 全ての人と積極的に協力して仕事をする |  |
| ３ | 計画性 | 計画性が少なく着眼性もあまり良くない |  | 着眼点は良いが計画性がやや少ない |  | 計画性がある |  | 計画性があり着眼も良好である |  | 優れた計画性があり着眼も良く計画は周到である |  |
| ４ | 信頼度 | 誠実さに欠けるところがあり信頼が薄い |  | 一応信頼されるがいくらか誠実さに欠けるところがある |  | 誠実で信頼される |  | 誠実で人々からの信頼が厚い |  | 誠実で多くの人々から全面的に信頼される |  |
| ５ | 判断力 | ややもすれば判断に的確を欠くことがある |  | おおむね中正な判断をするが適当とは言えない |  | 中正な判断をする |  | 中正で的確な判断をする |  | あらゆる場合に中正で的確な判断をする |  |
| ６ | 言動 | 言動に慎重を欠きがちである |  | 言動に慎重であるがやや明快さや節度に欠けるところがある |  | 言動と動作とも普通である |  | 言動は明快で動作に節度がある |  | 言動は非常に明快で動作に節度があり品位も失わない |  |
| 教員としての適格性 | 　有　・　無　　※どちらかに○をつけ、その理由を記入すること |
| 上記のとおり副申する。　　　　　　　　　年　　月　　日　　　　　　　　　　　　　　　　　　所属長職氏名　　　　　　　　　　　　　　　印 |
| 上記のとおり証明する。　　　　　　　　　年　　月　　日　　　　　　　　　　証明責任者　　　　　　　　　　　　　　　　印 |

（備考）１　所属長の証明は、現職でない者は出身学校又は勤務場所の責任者によるものとする。

　　　　２　証明責任者とは、国立学校又は公立学校の教員については所轄庁、私立学校の教員については当該

学校を設置する学校法人等の理事長をいう。

様式第４号（第30条、第33条関係）

|  |
| --- |
| 身体に関する証明書 |
| 氏名 |  |
| 生年月日 | 　　　　　　　　　　　　　年　　　月　　　日生 |
| 視力 | 右　　　　　　　　　　　（矯正）右左　　　　　　　　　　　　　　　左 |
| 聴力 | 右左 |
| 疾病異常等の所見 |  |
| 　上記のとおり診断する。　　　　　　　年　　月　　日　　　　　　　　　　医療機関　所在地　　　　　名　称医師氏名　 　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

在籍証明書

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 |  |
| 住所 |  |
| 生年月日 |  |
| 在籍期間 | 　　　　年　　　月　　　日から | 　　　　年　　月　　日まで　・　在籍中　 |
| 職種 |  |
| 備考 |  |

上記のとおり証明します。

年　　　　月　　　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 所在地 |  |
| 証明機関 |  |
| 代表者の職・氏名 |  | 印 |
| 担当者名 |  |
| 電話番号 |  |

様式第２号の２（第30条、第33条関係）

**記入例**

|  |
| --- |
| 教育職員検定願 |
| 申請免許状 | 特別支援学校　教諭（専修・１種・２種・臨時・特別）免許状 | 教科・領域 | 知的・肢体 |
| ふりがな | **みやざき　たろう** | 電話番号 | 本人・日中連絡先 | **０５０－１１１１－２２２２** |
| 氏名 | **宮崎　太郎** |
| 所属（　**○○小**　） | **０９８５－２６－７２４０** |
| 現住所 | **宮崎市橘通東１丁目９番１０号**所属先がない場合は記入不要 |
| 生年月日 | （和暦）　**○○**　年　**○**　月　**○**　日 | 本籍地 | **宮崎**　　　　（都道府県） |
| 私は、関係書類を添付のうえ、上記免許状の教育職員検定による授与を申請します。なお、教育職員免許法第５条第１項第３号から第６号までの規定に該当しないこと及びこの出願について虚偽のないことを誓います。（教育職員免許法第５条第１項第３号から第６号までの規定）３号　禁錮以上の刑に処せられた者４号　第10条第１項第２号又は第３号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該失効の日から３年を経過しない者５号　第11条第１項から第３項までの規定により免許状取上げの処分を受け、当該処分の日から３年を経過しない者６号　日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者Ｗｏｒｄでの入力は不可　　　　　　**○○**　年　　**○**　　月　**○**　日　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　　宮崎　太郎　　　（自署）申請書を記入した日付　　　　　　　　　　宮崎県教育委員会　殿　　　 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  | 受付日付 |
| （普通免許状又は特別免許状の場合5,000円）「宮崎県収入証紙」を貼付ける（臨時免許状の場合3,400円） |  |  |

点線内は記入不要

※以下、宮崎県教育委員会記入欄

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 根拠規定 | 免許法第（　　　）条第（　　　）項別表第（　　　　） | 審査 |  |
| 普通免許 | 添付書類 | 学力に関する証明書 |  | 戸籍抄本 |  |
| 実務成績証明書 |  | 基礎資格 |  |
| 人物に関する証明書 |  | 修得単位 | 教科・養護・栄養及び教職 |  |
| 身体に関する証明書 |  | 特支 |  |
| 教員免許状の写し |  | 所要資格取得年度 | 年度 |
| 臨時免許 | 添付書類 | 臨時免許状授与内申書 |  | 講師 | 卒業、修了又は資格に関する証明書 |  |
| 人物に関する証明書 |  | 成績証明書 |  |
| 身体に関する証明書 |  | 更新する臨免原本 |  |
| 教員免許状の写し |  | 戸籍抄本 |  |
| 教諭 | 教科教育成績証明書 |  |  |
| 特別免許 | 添付書類 | 人物に関する証明書 |  | 推薦書 |  |
| 身体に関する証明書 |  | 卒業、修了又は資格に関する証明書 |  |
| 実地に関する経験又は技術の証明書 |  | 戸籍抄本 |  |

様式第２号（第29条、第31条－第33条、第34条関係）

**記入例**

|  |
| --- |
| 実務成績証明書 |
| 勤務校 | ○○市立○○小学校 | 氏名 | 宮崎　太郎 | 生年月日 | ○○　年　○　月　○　日 |
| 勤務成績 | 優良　・　不可　　※どちらかに○をつけ、評価の基礎となる具体的内容を記入すること　本校で３年以上にわたる勤務経験があり、勤務態度も真面目で良好である。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 1. 教員としての在勤期間
 | 学校種 | 職名 | 担当教科 | 期間中学校（中等部）、高等学校（高等部）の場合は記入すること | 合計 |
| 幼・小・中・高・特支（幼・小・中・高） | 非常勤講師 | 数学 | ○年　○月　○日から○年　○月　○日まで | △年　　月　　日 |
| 幼・小・中・高・特支（幼・小・中・高） | 臨時的任用講師 | 非常勤講師の場合は、別途、週あたりの勤務時間が分かる辞令の写し（原本証明付き）等を添付すること | ○年　○月　○日から○年　○月　○日まで | △年 　　月　　日 |
| 幼・小・中・高・特支（幼・小・中・高） | 教諭 |  | ○年　○月　○日から○年　○月　○日まで | １年　　月　　日 |
| 幼・小・中・高・特支（幼・小・中・高） |  |  | 年　　月　　日から　　年　　月　　日まで | 年　　月　　日 |
| ②実際に勤務しなかった期間及び事由（休職・産休・育休等） | 事由 | 期間 | 合計 |
| 育児休業 | ○年　○月　○日から○年　○月　○日まで | 年　□月　　日 |
|  | 年　　月　　日から年　　月　　日まで | 年　　月　　日 |
|  | 年　　月　　日から年　　月　　日まで | 年　　月　　日 |
|  | 年　　月　　日から　　年　　月　　日まで | 年　　月　　日 |
| （①の期間）―（②の期間） | △年　□月　　日 |
| 上記のとおり副申する。印○○市立○○小学校校長　日向　次郎　　　　　　　**○○**年　**○**月　**○**日　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　所属長職氏名　　　　　　　　　　　　　　　印　証明日は在勤期間以降の日付を記載 |
| 上記のとおり証明する。印↓宮崎県内の県立学校の場合、この欄は空欄のまま提出○○市教育委員会　　　　　　　**○○**年　**○**月　**○**日　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　実務証明責任者　　　　　　　　　　　　　　印　 |

（備考）１　勤務成績の欄には、勤務の状況、教育力、社会性その他について記入すること。

２　学校種の欄では、該当する学校種に○をつけること。なお、特別支援学校勤務の場合には、在籍し

た部も選ぶこと。

３　職名については、教諭、助教諭、講師、養護教諭、養護助教諭、実習助手の別に記入する。講師の

場合、常勤、非常勤の区別をして記入すること。

４　現任校で証明する場合、「期間」の終期は証明日と同日とすること。

５　複数の勤務校における在職期間を証明する場合は、それぞれの勤務校ごとに作成すること。

６　実務証明責任者とは、国立学校又は公立学校の教員については所轄庁、私立学校の教員については

当該学校を設置する学校法人等の理事長をいう。

様式第３号（第30条、第33条関係）

**記入例**

|  |
| --- |
| 人物に関する証明書 |
| 氏名 | 宮崎　太郎 | 職名 | 教諭 | 生年月日 | ○○年　○月　○日 |
| 観察事項（以下の該当欄に○印を付すこと。） |
| １ | 責任感 | ややもすれば責任を回避しがちである |  | 責任は果たすが不十分である |  | 責任を果たす |  | 責任を十分に果たす | **○** | 責任を積極的にしかも完全に果たす |  |
| ２ | 協調性 | 協力して仕事をすることが少ない |  | 協力して仕事をするが範囲が狭い |  | 協力して仕事をする |  | 多くの人と協力して仕事をする |  | 全ての人と積極的に協力して仕事をする | **○** |
| ３ | 計画性 | 計画性が少なく着眼性もあまり良くない |  | 着眼点は良いが計画性がやや少ない |  | 計画性がある |  | 計画性があり着眼も良好である |  | 優れた計画性があり着眼も良く計画は周到である | **○** |
| ４ | 信頼度 | 誠実さに欠けるところがあり信頼が薄い |  | 一応信頼されるがいくらか誠実さに欠けるところがある |  | 誠実で信頼される |  | 誠実で人々からの信頼が厚い | **○** | 誠実で多くの人々から全面的に信頼される |  |
| ５ | 判断力 | ややもすれば判断に的確を欠くことがある |  | おおむね中正な判断をするが適当とは言えない |  | 中正な判断をする |  | 中正で的確な判断をする |  | あらゆる場合に中正で的確な判断をする | **○** |
| ６ | 言動 | 言動に慎重を欠きがちである |  | 言動に慎重であるがやや明快さや節度に欠けるところがある |  | 言動と動作とも普通である |  | 言動は明快で動作に節度がある |  | 言動は非常に明快で動作に節度があり品位も失わない | **○** |
| 教員としての適格性 | 　有　・　無　　　　※どちらかに○をつけ、その理由を記入すること　○○○であり、教育職員として適格である。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 上記のとおり副申する。○○市立○○小学校校長　日向　次郎　　　　　　　**○○**年　**○**月　**○**日　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　所属長職氏名　　　　　　　　　　　　　　　印　 |
| 上記のとおり証明する。↓宮崎県内の県立学校の場合、この欄は空欄のまま提出印宮崎市教育委員会　　　　　　　**○○**年　**○**月　**○**日　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　実務証明責任者　　　　　　　　　　　　　　印　 |

（備考）１　所属長の証明は、現職でない者は出身学校又は勤務場所の責任者によるものとする。

　　　　２　証明責任者とは、国立学校又は公立学校の教員については所轄庁、私立学校の教員については当該

学校を設置する学校法人等の理事長をいう。

印

様式第４号（第30条、第33条関係）

|  |
| --- |
| 身体に関する証明書 |
| 氏名 |  |
| 生年月日 | 　　　　　　　　　　　　　年　　　月　　　日生 |
| 視力 | 右　　　　　　　　　　　（矯正）右左　　　　　　　　　　　　　　　左 |
| 聴力医療機関で記入 | 右左 |
| 疾病異常等の所見 |  |
| 　上記のとおり診断する。　　　　　　　年　　月　　日　　　　　　　　　　医療機関　所在地　　　　　名　称医師氏名　 　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

この証明書に代えて、概ね１年以内の定期健康診断書の写し（所属長の原本証明付き）の提出も認める。

【原本証明の記載例】

　　　この写しは原本と相違ないことを証明します。

　　　　○年○月○日　△△校長　日向　次郎　印

在籍証明書

**記入例**

更新期限を迎える日に在籍していた学校、幼稚園又は認定こども園等に証明を依頼してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 宮崎　太郎 |
| 住所 | **宮崎市橘通東１丁目９番１０号** |
| 生年月日 | **○○年○月○日** |
| 在籍期間 | ○○年○月○日から | 　　　　年　　月　　日まで　・　在籍中　 |
| 職種 | 教諭 |
| 備考 |  |

上記のとおり証明します。

○○年○月○日

|  |  |
| --- | --- |
| 所在地 | 宮崎市橘通東２丁目１０番１号 |
| 証明機関 | ○○市立○○小学校 |
| 代表者の職・氏名印 | 校長　日向次郎 | 印 |
| 担当者名 | 山田　太郎 |
| 電話番号 | ０９８５－１２－３４５６ |